

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	多重ゼータの深化と新展開
研究代表者	金子 昌信（九州大学・大学院数理学研究院・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>多重ゼータ値のなす代数や個々の関係式は、近年急速に研究が進み、数学の各分野との関連が明らかになってきている。日本では特に有力な研究者が集中し、世界的な研究をリードしている。その強みを生かして研究を更に進めるとともに真の「大統一理論」を確立するという新展開を目指すものであり、高い成果が期待される。</p> <p>研究の焦点は良く絞られており、研究内容は極めて独自性が高い。また、研究計画も応募者の高い研究遂行能力から実現可能と判断される。</p> <p>以上のことから、本研究は、当該研究分野をリードし、日本が世界に誇れる研究であり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>